

(特非) アジア太平洋資料センター (PARC)

電気自動車・再生可能エネルギー・SDGs を鉱物調達の視点から再検証するモニタリ ング・普及啓発・提言活動

活動地域  フィリピン、インドネシア、エクアドル、日本全域など



足尾銅山煙害跡地における植林活動

課題

気候変動対策として電気自動車等の需要が急速に拡大しているが、その生産に必要なリチウム・ニッケル・銅の獲得のため、拙速かつ破壊的な鉱山開発が進んでいる。

目標

「責任ある鉱物採掘」が資源開発セクターの標準となり、気候変動対策などの切迫した問題に対しても十分な環境配慮がされ採掘された鉱物が活用される状態を目指す。



今後の
展望

新型コロナウイルスによる制限が解除され、当初の予定通り現地訪問ができ、調査・取材ができることを望む。そうでない場合にも、オンラインを駆使した代替案にて目標達成ができるよう、状況を注視しつつ柔軟に対応していく。

ひろげる助成

1年目

調査研究

活動内容と成果

- 連続オンラインセミナー「気候危機対策における公正なトランジションとは？—鉱物資源の視点から考える」(全3回)を実施
- 国際オンラインフォーラム「気候危機がもたらすアジアの危機—エネルギートランジションに脅かされるフィリピンの生物多様性と暮らし」を実施
- 足尾銅山開発現場とその環境・健康被害影響取材を実施
- エクアドルの鉱山開発の状況についてオンライン取材を実施
- 資源開発・精錬企業1社と面会実施
- 教材開発のための企画委員会を組織・実施



足尾銅山環境・健康被害に関する視察・取材の様子

オンラインセミナー
延べ参加者数 **753人**

教材作成用写真・映像 **1,400点**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **25%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルス禍により海外の鉱山開発現場への取材などが実施できず、実態調査や映像教材制作のための素材集めに苦心した。

■工夫した点

オンラインツールを駆使した代替案(オンライン報告会、オンライン取材、調査・映像撮影委託など)を柔軟に検討・実施した。

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町1-7-11
電話：03-5209-3455
E-mail：office@parc-jp.org
HP：http://www.parc-jp.org/

